

# 対話でつなぐ授業 一考察

岩瀬 竜弥



## 岡崎市教科・領域指導員会「授業参観」

### 3年 算数 「かくれた数はいくつ」 近藤雄一 教諭

本時の授業では、②線分図、式と場面を関連付け、問題の解決方法を説明することができたか(思考力・判断力・表現力)が目標です。近藤教諭は、線分図を子供と一緒につくりました。、ここを子供任せにする授業をよく見かけます。2時間完了の2時間目。線分図もようやく2回目、しかも3要素2段階の問題です。他の先生から「ここって、計算は簡単でも、実に奥が深い。」と言われました。今回、全員を「正しい線分図を使う」という共通の土台に乗せて、問題解決に進めました。

さて、今回、岡崎市の教科・領域指導員の研修も位置付けられ、31名の先生方もお招きしました。(近藤教諭も学習情報の指導員です)しかし、六ツ南子には全く関係ありませんでした。「先生、その書き順ちがうよ。」といつも通りです。もちろん、つぶやきも活発。

安心して対話できる温かい学級です。近藤教諭も、ご自身が6年生の時の担任の先生との出会いが、「教師になりたい」と決意へ。温かく居心地のよい学級づくりを今に引き継いでいるそうです。

本時では、「線分図から説明を考える子」と「立式して計算で求める子」のずれを軸にして、式「 $30+40=70$   $90-70=20$  20円」(まとめて)、「 $90-30=60$   $60-40=20$  20円」(順々に)、線分図、場面を関連付けて説明が始まりました。

S: あめ 30円とガム 40円で70円になって、ラムネをたして90円がわかる。70円は数に入っていないから、 $90-70=20$   
 T: 70円って、線分図でどこ? (授業記録より)

しかし、このあとの順々に計算する「 $90-30=60$ 」の60が線分図のどこをさすのか、近藤学級が紛糾。子供たちのスイッチが入りました。まさに主体的な学びであり、素敵なクラス対話の場面が生まれました。みなさんでしたら、教師がどこでどう突っ込むべきと考えますか?

私なら、授業記録のTのあと、「70は数に入っていないってどういう意味?」と立ち止まります。



**3** あめとガムを買いに行きました。あめは30円、ガムは40円でした。ラムネもほしくなって買ったら、全部で90円になりました。ラムネは何円でしたか。

**①** あめとガムを買った  
30円のあめと40円のガムを買った。

**②** ラムネを買った  
ラムネは何円かわからない。

**③** 全部で90円  
あめとガムとラムネ、全部で90円。

**図のかき方**



つまり、ひく意味を線分図から引き出させます。子供は「とる」「かくす」などの言葉で、残りがラムネの値段であることを線分図上で表現するのではないのでしょうか。みなさん、ぜひご意見ください!

授業終了後、「ちょっと違う」を繰り返していた子供たちが板書前に集結。引き続き対話が始まりました。